音や音楽を聴いて体を動かすことができるものを中心に，児童の生活年齢及び発達の段階に応じた指導のねらいとの関係において適切であり，親しみのもてるもの。

タ　鑑賞教材は，次に示すものを取り扱うこと。

(ｱ) 主となる鑑賞教材については，既習の歌唱教材や器楽教材を含め，児童の生活年齢及び発達の段階に応じた，曲想を感じ取り，情景を思い浮かべやすい，いろいろな種類の曲。

(ｲ) 音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく，聴く楽しさを感じやすい曲。

(ｳ) 楽器の音色や人の声の表現の違いを聴き取りやすい，いろいろな演奏形態による曲。

〔図画工作〕

1　目　標

表現及び鑑賞の活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 形や色などの造形的な視点に気付き，表したいことに合わせて材料や用具を使い，表し方を工夫してつくることができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ，表したいことや表し方などについて考え，発想や構想をしたり，身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。

(3) つくりだす喜びを味わうとともに，感性を育み，楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い，豊かな情操を培う。

2　各段階の目標及び内容

○1段階

(1) 目　標

ア　形や色などに気付き，材料や用具を使おうとするようにする。

イ　表したいことを思い付いたり，作品を見たりできるようにする。

ウ　進んで表したり見たりする活動に取り組み，つくりだすことの楽しさに気付くとともに，形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

(2) 内　容

A　表　現

ア　線を引く，絵をかくなどの活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 材料などから，表したいことを思い付くこと。

(ｲ) 身の回りの自然物などに触れながらかく，切る，ぬる，はるなどすること。

B　鑑　賞

ア　身の回りにあるものや自分たちの作品などを鑑賞する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 身の回りにあるものなどを見ること。

〔共通事項〕

ア　「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 自分が感じたことや行ったことを通して，形や色などについて気付くこと。

(ｲ) 形や色などを基に，自分のイメージをもつこと。

○2段階

(1) 目　標

ア　形や色などの違いに気付き，表したいことを基に材料や用具を使い，表し方を工夫してつくるようにする。

イ　表したいことを思い付いたり，作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。

ウ　進んで表現や鑑賞の活動に取り組み，つくりだす喜びを感じるとともに，形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

(2) 内　容

A　表　現

ア　身近な出来事や思ったことを基に絵をかく，粘土で形をつくるなどの活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 材料や，感じたこと，想像したこと，見たことから表したいことを思い付くこと。